

漁獲シナリオ等の検討及び 今後のスケジュールについて

令和7年10月29日(水)、30日(木)

資源管理方針に関する検討会
～第4回ズワイガニオホーツク海南部～

水産庁

1. 資源管理目標の案

(ズワイガニオホーツク海南部)

- 研究機関は、本資源は日本水域とロシア水域に跨って分布しており、日本水域は分布域の一部にすぎない、また、日本水域には生活史の一時期に来遊することから、日本水域における情報のみでは資源全体を対象とした資源量の目標管理基準値や限界管理基準値を設定することは困難であるとしている。
- このため、研究機関から提案された資源量指標値(注)の値を、漁業法第12条第2項の規定に基づく「維持又は回復させるべき目標」とする。

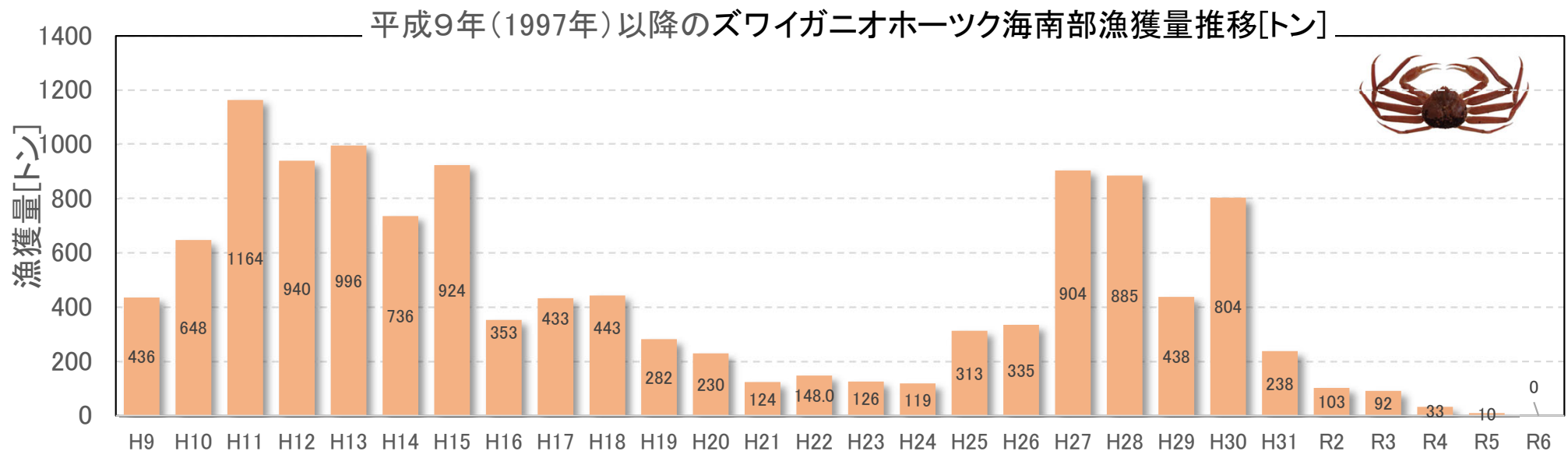
(注)オホーツク海底魚資源調査から推定される漁獲対象資源(甲幅90mm以上の雄)の分布密度

項目	案	現行
資源管理の目標	5キロ／km ² (平成15年(2003年)から令和6年(2024年)までの間の最低値(令和4年(2022年)を除く))	5キロ／km ² (平成15年(2003年)から令和元年(2019年)までの間の最低値)

2. 漁獲シナリオの案

(ズワイガニオホーツク海南部)

- 引き続き、我が国漁船による漁獲の状況等を踏まえて、操業水域に分布する当該水産資源の最適利用が図られるよう漁獲を管理する。
- TACは、資源状況が良好な場合に対応できる数量として、近年の最大漁獲量を考慮して算定する。



3. 今後のスケジュール

(ズワイガニオホーツク海南部)

R7年 8月5・6日	第4回SH会合 ・ 現行の資源管理方針及び資源の状況等について説明 ・ 今後SH会合で検討すべき事項について説明・議論
R7年9月30日	資源評価結果公表
R7年 10月29・30日	第5回SH会合 ・ 令和7年度資源評価結果について説明(資源管理の目標(案)及び漁獲シナリオ(案)の提示を含む。) ・ 資源管理目標、漁獲シナリオ等の議論 
R7年11月以降	第6回SH会合 ・ 資源管理目標、漁獲シナリオ等の議論の続き ・ 議論の取りまとめ
R8年1月	パブリックコメント開始 (SH会合の取りまとめを反映した、資源管理方針の変更(案))
R8年2月	水産政策審議会資源管理分科会 ・ 資源管理方針の変更(案)に対する意見聴取 ・ 令和8(2026)管理年度のTAC及びその配分(案)に対する意見聴取
R8年3月	資源管理方針の変更及び令和8管理年度のTACの決定
R8年4月	変更後の資源管理方針等に基づくTAC管理開始

本日の検討会はこちら